

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成20年3月13日(2008.3.13)

【公開番号】特開2001-261754(P2001-261754A)

【公開日】平成13年9月26日(2001.9.26)

【出願番号】特願2001-32583(P2001-32583)

【国際特許分類】

C 0 8 F 283/06 (2006.01)

A 6 1 K 8/72 (2006.01)

A 6 1 K 8/02 (2006.01)

A 6 1 K 9/20 (2006.01)

A 6 1 K 9/32 (2006.01)

A 6 1 K 47/32 (2006.01)

A 6 1 K 47/34 (2006.01)

C 0 8 F 2/44 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 F 283/06

A 6 1 K 7/00 J

A 6 1 K 7/00 R

A 6 1 K 7/00 S

A 6 1 K 9/20

A 6 1 K 9/32

A 6 1 K 47/32

A 6 1 K 47/34

C 0 8 F 2/44 C

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月25日(2008.1.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポリビニルエステルのグラフトコポリマーを製造する方法であって、

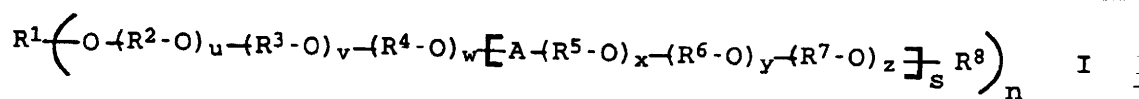
a)少なくとも 1 種の脂肪族 $C_1 \sim C_{24}$ カルボン酸のビニルエステルを、

b)室温で固体状であり、かつ下記の一般式 I を有するポリエーテル、および

c)場合によっては、少なくとも 1 種の他のモノマー

の存在下にて、フリーラジカル開始剤系を使用して重合させることによるものであり、前記フリーラジカル開始剤系の溶剤として液状ポリアルキレングリコールを使用する、前記方法：

【化 1】



(式中、可変部は互いに独立して以下の意味を有する：

R^1 は、水素、 $C_1 \sim C_{24}$ アルキル、 $R^9 - C(=O) -$ 、 $R^9 - NH - C(=O) -$ 、ポリアルコール残基であり

、

R^8 は、水素、 $C_1 \sim C_{24}$ アルキル、 $R^9-C(=O)-$ 、 $R^9-NH-C(=O)-$ であり、

$R^2 \sim R^7$ は、 $-(CH_2)_2-$ 、 $-(CH_2)_3-$ 、 $-(CH_2)_4-$ 、 $-CH_2-CH(CH_3)-$ 、 $-CH_2-CH(CH_2-CH_3)-$ 、 $-CH_2-CHOR^{10}-CH_2-$ であり、

R^9 は、 $C_1 \sim C_{24}$ アルキルであり、

R^{10} は、水素、 $C_1 \sim C_{24}$ アルキル、 $R^9-C(=O)-$ であり、

Aは、 $-C(=O)-O-$ 、 $-C(=O)-B-C(=O)-O-$ 、 $-C(=O)-NH-B-NH-C(=O)-O-$ であり、

Bは、 $-(CH_2)_t-$ 、任意に置換されていてもよいアリーレンであり、

nは、1～8であり、

sは、0～500であり、

tは、1～12であり、

uは、1～5000であり、

vは、0～5000であり、

wは、0～5000であり、

xは、1～5000であり、

yは、0～5000であり、

zは、0～5000である)。

【請求項 2】

フリーラジカル開始剤系の溶液を、重合反応時間全体にわたって連続的に添加する、請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

液状ポリエチレングリコールを、室温におけるフリーラジカル開始剤の溶剤として使用する、請求項 1 または 2 記載の方法。

【請求項 4】

医薬剤形用のコーティング剤、結合剤および／または被膜形成賦形剤としての、請求項 1～3 のいずれか一項に記載の方法によって製造されるポリマーの使用。

【請求項 5】

化粧品、衛生製品および／または皮膚用製品への添加剤としての、請求項 1～3 のいずれか一項に記載の方法によって製造されるポリマーの使用。

【請求項 6】

請求項 1～3 のいずれか一項に記載の方法によって製造されるポリマーの少なくとも 1 種の他に、従来慣用の賦形剤を含んでなる化粧品、皮膚用製品、衛生製品または医薬剤形。

【請求項 7】

ポリビニルエステルのグラフトコポリマーであって、

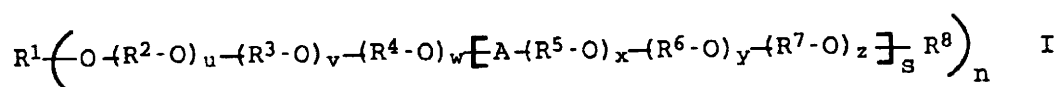
a) 少なくとも 1 種の脂肪族 $C_1 \sim C_{24}$ カルボン酸のビニルエステルを、

b) 室温で固体状であり、かつ下記の一般式 I を有するポリエーテル、および

c) 場合によっては、少なくとも 1 種の他のモノマー

の存在下にて、フリーラジカル開始剤系を使用して重合させ、前記フリーラジカル開始剤系の溶剤として液状ポリアルキレングリコールを使用する、ことによって得られる前記グラフトコポリマー：

【化 2】



(式中、可変部は互いに独立して以下の意味を有する：

R^1 は、水素、 $C_1 \sim C_{24}$ アルキル、 $R^9-C(=O)-$ 、 $R^9-NH-C(=O)-$ 、ポリアルコール残基であり、

、

R^8 は、水素、 $C_1 \sim C_{24}$ アルキル、 $R^9-C(=O)-$ 、 $R^9-NH-C(=O)-$ であり、

$R^2 \sim R^7$ は、 $-(CH_2)_2-$ 、 $-(CH_2)_3-$ 、 $-(CH_2)_4-$ 、 $-CH_2-CH(CH_3)-$ 、 $-CH_2-CH(CH_2-CH_3)-$ 、 $-CH_2-CHOR^{10}-CH_2-$ であり、

R^9 は、 $C_1 \sim C_{24}$ アルキルであり、

R^{10} は、水素、 $C_1 \sim C_{24}$ アルキル、 $R^9-C(=O)-$ であり、

A は、 $-C(=O)-O-$ 、 $-C(=O)-B-C(=O)-O-$ 、 $-C(=O)-NH-B-NH-C(=O)-O-$ であり、

B は、 $-(CH_2)_t-$ 、任意に置換されていてもよいアリーレンであり、

n は、1～8であり、

s は、0～500であり、

t は、1～12であり、

u は、1～5000であり、

v は、0～5000であり、

w は、0～5000であり、

x は、1～5000であり、

y は、0～5000であり、

z は、0～5000である)。